

週間漁海況情報 2022年第33号

令和4年8月16日発行

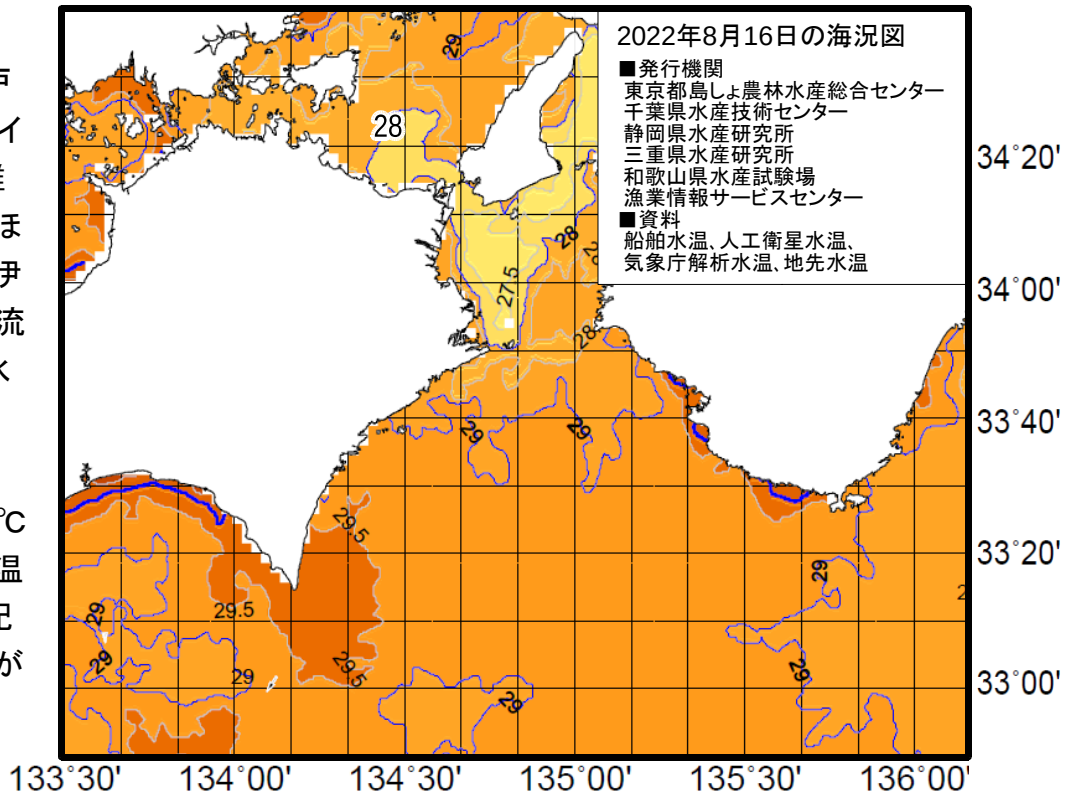
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖89マイル、潮岬沖126マイルを流れ、いずれも「著しく離岸」。黒潮からの暖水波は、ほとんど見られない。今後、紀伊半島沖で大蛇行の北上する流れが西に寄った時には、暖水波が東から流れ込む可能性があるかと予測されている。

黒潮の表面水温は28～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が27～28℃台、紀伊水道は28℃台、海部沿岸が28～29℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～

潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

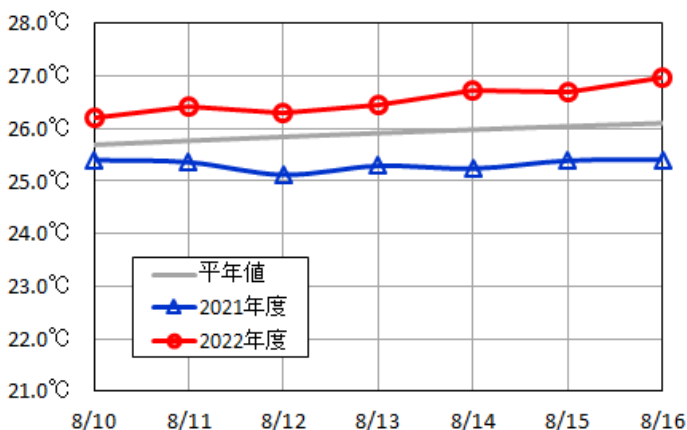
(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

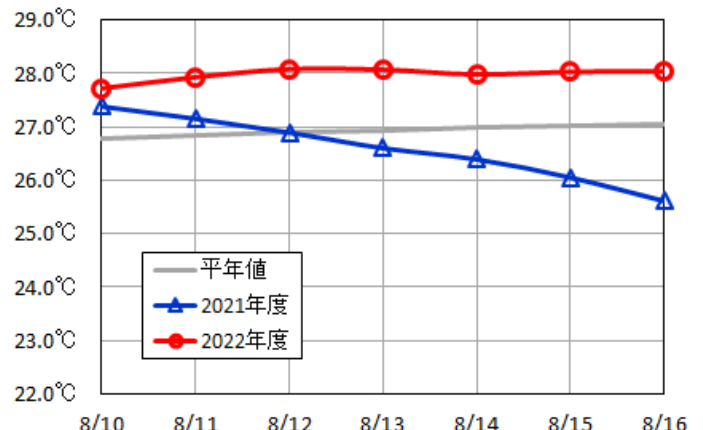
2. 地先水温(8月10日～8月16日)

鳴門地区の水温は26.1～27.0℃、日和佐地区は27.7～28.0℃で、いずれの地区も「やや高め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は1.2～1.7℃で、前週に比べて1℃近く広がった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(8月17日～8月23日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ではいずれも「著しく離岸」で経過する見込み。
地先水温は、鳴門地区・日和佐地区とも「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (8月8日～8月14日:そのうち、13～14日および15日は盆休み。)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 5)

船びき網では、シラスが大きく減って60ト水揚げされた。
 延縄では、ハモが大きく減って中主体に4ト水揚げされた。
 小型定置網では、ブリがつばす級主体に0.6ト、マサバが増えて0.6ト、カンパチが増えて0.5ト、マアジが大きく減って0.2ト、イサキが大きく減って大主体に0.2ト、ふえふきだい類が大きく増えて大主体に0.1ト水揚げされた。
 底びき網では、ハモが減って中主体に8.3ト、えそ類が減って0.6ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

延縄では、キダイが減って大主体に0.3ト、うつぼ類が大きく増えて0.2ト、あまだい類が減って0.1ト、アカムツが大きく減って0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

| 海区 | 漁業種類 | 出漁隻数 (のべ) | 魚種 | 漁獲量 | 1日1隻あたり(kg) | 銘柄 | 前週比※ | |
|------|-------|--------------|-----|---------|-------------|-----|--------|----|
| 紀伊水道 | 船びき網 | 50 | シラス | 60,000 | 1,200 | | ↓↓ | |
| | 延縄 | 46 | ハモ | 4,048 | 88 | 中主体 | ↓↓ | |
| | 小型定置網 | | 9 | ブリ | 620 | 69 | つばす級主体 | → |
| | | | 6 | マサバ | 560 | 93 | | ↗ |
| | | | 16 | カンパチ | 513 | 32 | | ↗ |
| | | | 14 | マアジ | 163 | 12 | | ↓↓ |
| | | | 11 | イサキ | 158 | 14 | 大主体 | ↓↓ |
| | | | 9 | ふえふきだい類 | 115 | 13 | 大主体 | ↗↗ |
| | 底びき網 | | 24 | ハモ | 8,336 | 347 | 中主体 | ↓ |
| | | 18 | えそ類 | 553 | 31 | | ↓ | |
| 海部沿岸 | 延縄 | | 9 | キダイ | 274 | 30 | 大主体 | ↓ |
| | | | 3 | うつぼ類 | 175 | 58 | | ↗↗ |
| | | | 13 | あまだい類 | 127 | 10 | | ↓ |
| | | | 4 | アカムツ | 117 | 29 | | ↓↓ |

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↓ 50%未満:↓↓